

COOP  
I W A T E

いわて生協

## 第35回 通常総代会議案書

ダイジェスト版

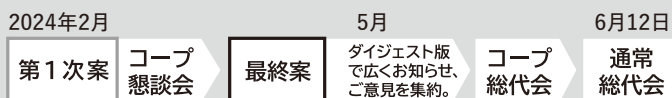
## 第11次中期計画、2024年度計画案がまとまりました。ぜひご意見をお寄せください。

2月に開催した「コープ懇談会」には、39会場とWEBに1,356人の組合員が参加し、たくさんのご意見をいただきました。理事会で検討し、「第11次中期計画(2024~2026年度)」、「2024年度計画」の最終案がまとまりましたので、お知らせします。この計画は、5月開催の「コープ総代会」を経て、6月12日開催の「第35回いわて生協通常総代会」で決定します。

■4ページまでの内容をごらんいただき、4ページの「ご意見カード」で、ぜひご意見をお寄せください。

■16会場で開催する「コープ総代会」にも、ぜひご参加をお願いします。役員が参加し、まとめと計画について説明を行います。

## 多くの組合員の声で計画づくりをすすめています



## | 地域のコープ総代会に、ぜひご参加ください |

コープ	日程	時間	会場
盛岡北	5月28日(火)	10:00	盛岡市上田公民館
盛岡中央	5月22日(水)	10:00	プラザおでって
盛岡西	5月24日(金)	10:00	ベルフ青山
岩手郡	5月28日(火)	10:00	滝沢ふるさと交流館
盛岡南	5月22日(水)	10:00	盛岡タカヤアリーナ
盛南	6月1日(土)	10:00	矢巾町公民館
宮古	5月25日(土)	10:30	マリンコープドラ
釜石	5月30日(木)	10:30	釜石市民ホール TETTO

コープ	日程	時間	会場
けせん	5月23日(木)	10:00	シーパル大船渡
花巻	5月28日(火)	10:00	なはんプラザ
北上	5月30日(木)	10:00	北上さくらホール
水沢	5月21日(火)	10:00	コープアテルイ
一関	5月29日(水)	10:30	コープ一関コルザ
東いわい	5月24日(金)	10:00	千厩労働福祉センター
にのへ	5月29日(水)	10:30	二戸市シビックセンター
久慈	6月1日(土)	10:30	久慈市アンバーホール

参加希望の方は、各日程3日前までに組合員活動チーム(019-603-8299)までお申し込みください。

## | 通常総代会は、500名の総代のみなさんで開催します |

6月12日(水)10:30~12:30 岩手県民情報交流センター「アイーナ」804号会議室  
組合員の代表として選出された総代が集まり、いわて生協の方針や活動を決定します。

## 第35回通常総代会議案

第1号議案 2023年度事業報告・決算関係書類等承認の件

2023年度のまとめ

## 物価高の中で、暮らしに役立つ事業をすすめ、予算を上回る黒字を実現しました

2023年度は、物価の高騰が続き、私たちの家計はさらにきびしさを増しました。またウクライナに続きガザでの戦争が始まり、平和への不安も大きく広がった1年でした。

こうした中でいわて生協では「2030年ビジョン」実現のための「第10次中期計画(2021~2023年度の3か年計画)」の最終年度として、きびしい家計を応援する取り組みをはじめ、店舗では「ベルフ向中野」のオープン、宅配事業では子育てサポー

トの拡充、「コープポイント」のスタートなどをすすめてきました。

組合員は7千人増えて28万6千人に、出資金も109億円を超えました。供給高(組合員の利用)は予算を下回りましたが、経常剰余金(事業上の利益)は予算を上回って確保することができました。

この1年の組合員のみなさんの利用と取り組みの結果です。



23年3月にオープンしたベルフ向中野では、この1年で目標を大きく上回る3,310人が組合員に加入しました。

## 重点 1 生涯をとおして組合員の暮らしに役立ち、特に子育て層の暮らしに役立つ事業

## 1. 店舗事業は、きびしい家計を応援しました。

- ①全国・東北の生協といっしょに「コープ暮らし応援全国キャンペーン」「コープ商品フェア」などに取り組み、家計を応援しました。
- ②長年の要望だった店舗と宅配のポイントを統一し「コープポイント」をスタート。ポイント7倍・10倍デーも実施しました。
- ③セルフレジを魚菜市场・西ヶ丘を除く全店に導入。「レジ待ち時間が減った」と好評です。
- ④クレジット機能付き組合員カード「アイコープ・トリプルカード」は3,558人が登録、累計で1万588枚の発行となりました。
- ⑤5年ぶりの新店「ベルフ向中野」を盛岡市にオープンしました。

- ⑥アイコープ商品は4品を改善、原材料や資材の高騰を受けて21品の価格改定や量目変更を行いました。産直品・コープ商品を含めた利用は90億1千万円に増えました(前年+5億2千万円)。

## 2. 宅配事業は、引き続き地域の暮らしを支えました

- ①1万1,236人の仲間づくりで、利用者は8万20人(前年+928人)になりました。
- ②宅配商品を店舗で受け取れる「コープステーション」をコープアテルイに開設し、計3か所に。毎週669人(前年+334人)が利用しています。
- ③冷凍食品の品揃え拡大や「無印良品」の取り扱い、また商品利用でポイントをプレゼントするなどのサービスを拡大し、利用増につながりました。
- ④「夕食宅配サービス」は事業開始10周年を迎

え、21市町村で3,553食(前年+168食)に利用が増えました。要望にこたえ「朝昼用おかずセット」を新たにスタートしました。

- ⑤「高齢者見守り協定」に基づく異変への対応は29件、開始からの11年では189件に対応しました。

## 3. 各事業で暮らしのサポートをすすめました。

- ①葬祭事業はセリオホール中野を改装し快適さを向上させました。年間施行件数は1,690件と、前年を上回りました。
- ②エネルギー事業は、灯油事業は3万9,346人(前年-222人)が利用。県内の灯油価格を適正化しリードする役割を果たし、3,450万円の灯油還元を実現しました。コープのでんき「ココエネ」は「ソフトでんき」の供給を継続し、保有件数は7,245件(前年-265件)となりました。
- ③保障事業は、共済と保険で暮らしの安心をサ

ポートしました。共済事業は5,855件の加入で契約件数は11万5,599件に(前年+145件)。共済金のお支払いは10億6千万円と組合員のくらしに貢献しました。

- ④福祉事業は、体制難などもあり利用者が計画に届きませんでした。事業収入も予算を下回ったことから予算を上回る赤字となりました。
- ⑤南昌荘は入園者数が2万9,469人と、2000年の開館以来最多となりました。

#### 4. 若い世代・子育て層のくらしをサポートする取り組みをすすめました。

- ①岩手に生まれた赤ちゃんに贈る「はじめてばこ」は2,216件の申し込みで、開始からの4年間で累計1万2,749件(県内の赤ちゃんの44%)を超えました。
- ②「はじめてCLUB」は宅配手数料無料期間を2年間に、対象年齢を6歳になるまでに延長しサービスを拡充したことで、会員が8,310人(前年+4,252人)に増えました。宅配手数料が半額になる「子育てサポート値引き」も対象年齢を12歳までに拡大しました。
- ③店舗事業では、4店舗で「キッズカード」を導入しました。
- ④子育てママ向けの企画「ハピママコープ」は、県内16会場で268回開催し、1,189組(前年+219組)が参加。地域の子育ての集まりを訪問する「きらきら応援隊」は、657組の親子に生協の商品・事業をお知らせしました。
- ⑤若い世代の組合員を新加入者の58%に増やそうと取り組みましたが、51%と計画・前年(53%)とも届きませんでした。

### 重点 2 だれもが安心して暮らせる社会と、人と人がつながる地域づくり

#### 1. 若い世代の参加が広がりました。

- ①「ウェルカムコープ」「秋のコープのつどい」などへの参加は15,881人に(前年+1,818人)。気軽に参加できるおうち開催・WEB開催で、40代までの組合員の参加は5千人を超えました。
- ②こ〜ぶ委員会は11委員会増え170委員会に、こ〜ぶ委員は新たに87人が委員となり781人が活動しました。

#### 2. 子ども食堂への支援が広がりました。

- ①「フードドライブ」は7,196点が寄せられ、社会福祉協議会など25団体に贈呈しました。「ささ

えあい募金」は399万円(前年245万円)が寄せられ、「子ども食堂」の割引支援(14団体111万円)に活用しました。

- ②年齢を重ねても地域で元気に暮らすための「大人企画」や「コープサロン」は開催地域を拡大し参加者も増えました(367回2,923人参加)。
- ③被災地支援活動は、移動店舗「にこちゃん号(2台)」や買物バスでの買い物支援を継続。「被災地支援活動助成金」は13団体に313万円を助成しました(8年間でのべ91団体2,299万円)。
- ④24年1月に発生した「能登半島地震」に対し、組合員から3,091万円の募金が寄せられました。また支援のために職員11名を派遣しました。

### 重点 3 地球環境・食・平和について学び、行動し、持続可能な世界の実現をめざす取り組み

#### 1. 環境商品の利用を増やしました。

- ①人や社会環境に配慮した「エシカル消費に対応した商品」の利用拡大に取り組み、55億6千万円に増えました(前年+2億9千万円)。
- ②リサイクルは、重点として取り組んだトレイの回収率が56%(前年+4%)に増加、紙パック・卵パックは100%以上を維持しています。回収したペットボトルの8割をコープ商品の包材原料へリサイクルする取り組みについてもお知らせし、回収量が増えました(前年比111%)。
- ③事業でのCO<sub>2</sub>の排出量は「13年度に対し64.6%削減」と、国の「2030年までに46%削減」の目標を大幅に上回って削減しました。また、ベルフ向中野には県内の水力発電による電気を導入し、事業で使用する電力の100%以上を再生可能エネルギー電源で確保しました。

#### 2. 平和とくらし・食を守る取り組みをすすめました。

- ①食料と自給率の問題について「秋のコープのつどい」で学び、特にきびしい状況にある酪農について、生産者の声も伝えて産直生協牛乳の利用を呼びかけました。
- ②「ピースアクションinオキナワ」に参加した組合員理事の報告と国の安全保障政策の転換についてコープ総代会で学習しました。
- ③パレスチナ・ガザ地区での戦闘について、日本政府に対し「武力行為の即時停止と人道支援実施」を求める要請を行いました。ユニセフ「ガザ人道危機緊急募金」には353万円の募金が寄せられました。

#### ■仲間づくり・出資金の23年度の結果と24年度目標

	2023年度目標	2024年度目標	23年度比
組合員	28万6,788人	29万800人	101%
世帯加入率	53.6%	54.4%	101%
出資金	109.6億円	113億円	103%
積立増資参加者	8万1,559人	8万2,400人	101%

※出資金は1口=1,000円未満の出資預り金を含んだ額です。

#### 2023年度決算報告と剰余金処分案

- 1.供給高は466億5,372万円(予算比97.6%)。宅配・葬祭事業は予算を上回りましたが、店舗・エネルギー事業が予算を下回り、全体では予算を下回りました。
- 2.経常剰余金(事業上の最終的な利益)は10億1,686万円(予算比163.7%)と予算を大きく上回る黒字となりました。
- 3.会計基準にそって6事業所の減損損失処理などを行い、最終的に処分できる当期末処分剰余金は9億5,652万円(予算比153.0%)となりました。この剰余金については、出資配当として組合員のみなさんに配分するほか、今後の経営の安定に備えて積み立てることを提案します。

#### ■年0.2%の出資配当を実施します。

総代会決定後に税引き(所得税20%と復興特別所得税0.42%)後の配当金を出資金に振り替えます。

■生協法で定められている法定準備金を1,200万円、今後の減損損失処理に備え、減損積立金を8億6,500万円、能登半島地震で支援に活用した分181万円を災害・偶発損失積立金に、また現在実施のセットセンターと事業本部増床費用として5千万円を「施設整備積立金」として積み立てます。

#### 2023年度 剰余金処分(案)

I 当期末処分剰余金	9億5,651万9,050円
II 剰余金処分額	
1. 法定準備金	1,200万円
2. 出資配当金(0.20%)	2,165万4,386円
3. 任意積立金	
(1) 減損積立金	8億6,500万円
(2) 災害・偶発損失積立金	181万2,439円
(3) 施設整備積立金	5,000万円
	9億5,046万6,825円
III 次期繰越剰余金	605万2,225円

#### 第2・3号議案 第11次中期計画・2024年度事業計画・予算決定の件

#### 2024~2026年度の計画

### 「ともにつくるくらしと未来」をめざして

「第11次中期計画(2024~2026年度)」と、その初年度の2024年度の計画・予算について提案します。

これからの3年は、岩手県では少子高齢化・過疎化がさらにすすみ、また世界の戦争や異常気象の影響による物価高なども心配されます。こうした中で、2030年ビジョンで掲げた「ともにつくるく

らしと未来」をめざし、きびしさが増すくらしを支える事業と活動を着実にすすめます。

特に、2030年ビジョンで重点とした「若い世代・子育て層のくらしを応援する取り組み」に加え、「組合員の半数を占める60代以上の組合員のくらしを生涯にわたって支える取り組み」もあらためてすすめていきます。

※以下の掲載は、第11次中期計画の内容です。



「キッズカード」や「はじめてCLUB会員デー(5%引き)」など、店舗での子育て応援の取り組みをすすめます。

重点  
1

生涯をととして組合員の暮らしに  
役立ち、特に子育て層の暮らしに  
役立つ事業

1. 店舗事業は、便利で買い物が楽しくなる  
店づくりをすすめます。

- ①「産直品、アイコープ商品・コープ商品」のよさを伝え、生協ファンを増やします。毎月第4週に「県産食材セール」を開催するほか、コープフェアにあわせて「コープ商品10%引きの日」開催を検討します(24年度)。
- ②毎年売り場のリニューアルを行います。店内素材を使った美味しい惣菜商品や、レンジやフライパンで簡単・便利に作れる商品の開発・品揃えを充実します。
- ③「家計応援値下げ」企画や毎日お買い得な商品を増やすことで、きびしい家計に貢献します。
- ④お買い物しながら商品のスキャンができるレジカートの導入や、バーコード決済の拡大を検討します。

2. 宅配事業は変化する暮らしを支えます。

- ①コロナ下で遅れた仲間づくりをすすめ、宅配利用者8万2,504人、世帯加入率16%をめざします。
- ②老朽化しているセットセンターのセットラインを入れ替え、効率化と今後のアイテム増に備えます(25年度)。
- ③コープポイントは、ポイント企画を充実。また、貯まったポイントを希望する商品と交換できるチラシを新たに発行し、ポイントの利用方法を拡充します(25年度)。
- ④夕食宅配サービスは3,829食をめざします。新たにエリア外への対応として宅配ルートでのおかずセットのお届けを検討します。

3. 多彩な事業で暮らしをサポートします。

- ①葬祭事業は組合員が多い店舗地域を中心に、3ホールを新設。葬儀施行は2千件をめざします。セリオ積立は1万7千件に増やします。
- ②灯油事業は、登録者36,970人、県内シェア9%以上をめざします。灯油WEB注文の利用を広げます。「1,000リットル以上1円値引き特典」を見直し、要望の多い「コープポイント」付与を検討します。「コープのでんき」は6,040世帯の利用(23年度比85%)を維持します。
- ③保障(共済)事業は、コープ共済40周年を機に、制度のよさを知らせ11万8千件の契約をめざします。「お誕生前申込制度」、「不妊治療の条件付加入制度」などの制度改定を行います(24年度)。
- ④福祉事業は、経営改善をすすめ、24年度で黒字化をめざします。

4. 若い世代・子育て層の暮らしをサポート  
する取り組みをさらに広げます。

- ①店舗では「キッズカード」を高松・魚菜市场・西ヶ丘を除く13店舗に拡大、「はじめてCLUB会員デー(5%引き)」や親子向けイベントも開催します(24年度)。子育て層の利用が多い商品の品揃えも拡充します。
- ②宅配では、「はじめてばこ」の申し込みや「はじめ

てCLUB」の登録者を増やします。

- ③「ハピママコープ」は「ハピファミコープ」と名称を変え、対象を3歳までから小学校入学前までに拡大、パパの参加や土日の親子企画を増やします(24年度)。
- ④LINEやInstagramを活用した情報発信をすすめます。
- ⑤子育て層の加入を新加入組合員の55%に(23年度比+4%)、店舗利用者は5万7千人(110%)、宅配利用者は2万1千人(113%)をめざします。

5. シニア世代の暮らしをサポートします。

- ①店舗では、全店でのお買い物配達サービス、盛岡・沿岸地域のお買い物バス、沿岸地域での移動店舗を継続します。また、サービスケアアテンダント、認知症サポーターの育成をすすめます。
- ②宅配では、チラシ・注文書の文字サイズ拡大、高齢者専用注文書の導入を検討します。夕食宅配サービスは介護食(やわらか食)を開始します。
- ③要望が増えている住宅のリフォームや塗装、草刈り、家事代行など、暮らしのサービスを広げます。
- ④組合員活動では、高齢者の健康づくりとして「一緒に作って食べる活動」を開始します。「大人企画」「コープカフェ(旧コープサロン)」の開催を広げます。(24年度)。

重点  
2

だれもが安心して暮らせる社会と、人と人がつながる地域づくり

1. 商品を中心に生協ファンづくりと運営参加を広げます。

- ①アイコープ商品や産直品などのよさを知らせる活動は、商品モニター(年700人)、こ〜ぷ委員会の「はなまる商品」の学習とお知らせ、産地・工場見学の再開、商品学習会の実施などに取り組みます。
- ②組合員の参画による運営の場は、会場・おうち、WEBを併用するなど開催形式を工夫して取り組みます。自宅で取り組む「初夏のコープのつどい」を再開します(24年度)。
- ③こ〜ぷ委員会は170委員会800人の体制をめざします。



産地見学や工場見学を再開します。

2. 地域でのささえあいやつながりづくりの活動を広げます。

- ①「フードドライブ」は宅配での取り組みを年間2回に増やします。また、地域の「子ども食堂」への支援を拡充し、新たに子ども食堂のイベントへの「お菓子支援」を開始します。
- ②増える自然災害に備え、震災を風化させない、防災・減災の取り組みをすすめます。被災地支援活動を継続します。

重点  
3

地球環境・食・平和について学  
び、行動し、持続可能な世界の  
実現をめざす取り組み

1. 地球温暖化防止と原発に依存しない事業をさらにすすめます。

- ①事業でのCO<sub>2</sub>排出量は「26年度までに13年度比で68%削減」をめざし、節電と再生可能エネルギーの活用をさらにすすめます(23年度64%)。
- ②リサイクルは、引き続き回収率100%をめざし、特にトレイの回収率を59%に引き上げます(23年度55%)。
- ③事業と家庭からの食品廃棄・食品ロスの削減をすすめます。
- ④エシカル消費に対応したコープ商品、アイコープ商品・産直品の利用を増やします。またエシカル消費や環境問題の学習、「コープの森」などへの参加は7千人をめざします。

2. 暮らしや平和をめぐる問題について学習と運動をすすめます。

- ①核なき世界、平和な世界をめざし、核兵器廃絶、平和憲法9条をまもる運動をすすめます。
- ②きびしい暮らしを守るために「消費税5%への減税」を求める運動を継続します。また食の安全や食料・農業問題、原発問題なども県内の団体と一っしょに学習と運動をすすめます。

2024年度予算(案)

供給高は、476億8,200万円(前年比102.2%)としますが、仕入れ・原材料の高騰に加え、物流経費や人件費の増加による経費増を見込み、経常剰余金は7億4,200万円(前年比73.0%)とします。

特別損失として、赤字事業所の減損損失処理など3億2,100万円(前年比37.1%)を見込み、当期剰余金は4億2,100万円、最終的な当期末処分剰余金は5億7,405万円(前年比60.0%)とします。

■2023年度決算と2024年度予算案

勘定科目	2024年度予算	2023年度実績	23年度比
組合員との取引価額総額	476億8,200万円	466億5,372万円	102.2%
供給高	446億6,000万円	436億5,865万円	102.3%
供給剰余金	122億9,400万円	120億9,212万円	101.7%
その他事業収入	15億7,200万円	15億4,585万円	101.7%
事業総剰余金	138億6,600万円	136億3,797万円	101.7%
事業経費(人件費・物件費)	131億3,500万円	126億4,299万円	103.9%
事業剰余金	7億3,100万円	9億9,498万円	73.5%
事業外収益・費用	1,100万円	2,187万円	50.3%
経常剰余金	7億4,200万円	10億1,686万円	73.0%
特別利益	—	3,558万円	—
特別損失	3億2,100万円	8億6,616万円	37.1%
当期剰余金	4億2,100万円	1億1,713万円	226.0%
当期末処分剰余金	5億7,405万円	9億5,652万円	60.0%

※22年度からの新会計基準により、決算書では、これまでの「供給高」は「組合員との取引価額総額」と表記が変わりました。「供給高」は、テナントなど、直接供給ではないものなどを除いた金額となります。ただし、本文中ではわかりにくいので、これまでどおり「供給高」で記載しています。

**第4号議案**

**他団体への加入または脱退の理事会での議決範囲決定の件**

定款の定めによって、生協が事業を行うために联合会や他団体に加入または脱退する場合の出資金や会費などについて、理事会で議決できる範囲を「1件5,000万円未満」に定めます。

**第5号議案**

**第18期役員選挙、第18期役員選考委員・役員選挙管理委員選出の件**

役員の任期(2年)満了に伴い、理事26名(地域選出区16名、全県区10名)、監事5名(全県区)を選挙します。  
また、役員選考委員6名、役員選挙管理委員4名を選出します。

**第6号議案**

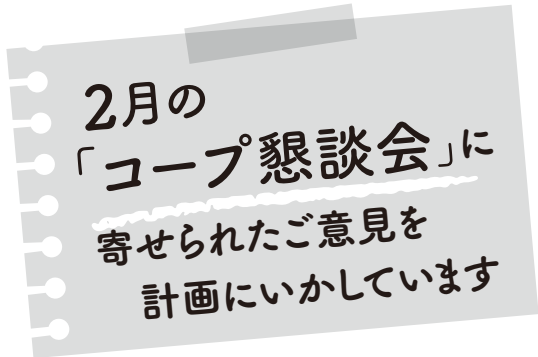
**2024年度役員報酬決定の件**

2024年度の役員報酬は、理事(26名)は6,150万円以内、監事(5名)は150万円以内とします。計6,300万円以内(前年度7,300万円以内)。  
前年度より理事が2名減となるため減額となります。

**第7号議案**

**役員退任慰労金支給の件**

退任する理事8名に対して、規程に基づき退任慰労金を支給します。



**宅配のチラシが多いです。班利用でもチラシ不要の設定はできるのでしょうか。**

チラシが多いとの声を受け、AI(人工知能)を活用した選択配布を行っています。現在22種類のチラシについては、ご利用がない方にはお届けしないようにしています。年に1度はチラシをお届けし、その時に利用がなければお届けを停止します。お申し出があれば再開できます。

なお、インターネット注文をご利用の方は、チラシや注文書をお届けしないよう設定することもできます。現在、2,869人(3.6%)の方が、宅配チラシのお届けを停止しています。注文書やチラシを不要にしても、納品書は届きますので、班でご利用の方もご不便なく商品の仕分けができます。お届けしない設定は各宅配センターへお電話または右のQRコードからお申し込みください。



**個人宅配の「復興支援サービス」がなくなると聞きました。**

「復興支援サービス」は東日本大震災で被災され、被災証明書をお持ちの組合員に対し、個人宅配の配達手数料を優遇するサービスです。

(通常250円→140円)。東日本大震災から13年が経過し災害住宅への移転も完了したことから、3月20日をもって新規の受付を停止しました。現在のご利用の7千人の方々については支援を継続します。

**セルフレジでは「店舗300円値引券」は使えないのですか。**

セルフレジでも「店舗300円値引券」を使用できます。「店員呼び出し」ボタンで職員をお呼びください。

なお、コープアプリからは、「ポイント利用」→「店舗でポイント値引き」を選びポイント数を入力することによって、1円単位で値引きをすることができます。ぜひこちらもご活用ください。

**店舗のキッズカードの対象年齢は？利用金額にきまりはありますか？**

キッズカードは、「子育て世帯応援」の取り組みのひとつとして親子で生協の店舗でのお買い物を楽しんでもらおうと、3月21日から全店(コープ高松・西ヶ丘、ベルフ魚菜市場は除く)で開始しました。対象は小学6年生までの組合員のお子さんで、お買い物1回につき、シールを1枚差し上げます(兄弟などお子さんが複数の場合は人数分)。利用金額に決まりはありません。シールが10枚貯まったら景品と交換できます。

なお、水・土曜日は2倍デーで、シールを2枚差し上げています。ぜひお子さん・お孫さんと一緒に来店ください。

**ハピママコープにパパも参加できるようになってうれしい。**

2014年に開始した「ハピママコープ」は、0~3歳児のママが子連れで集まり、楽しみ交流する場として開催してきました。この10年間で子育て環境も変化し、「パパも参加したい」「子どもは保育園に預けているので親だけで参加したい」などのご意見をいただけてきました。

そこで、4月からは「ハピファミコープ(Happy FamilyCOOP)」と名称を変え、参加対象を「0歳~小学校に入る前までのお子さんがあるママ・パパ」にまで拡大、お子さんと一緒でも、単身でも参加できるようにしました。また、働いている方がお子さんと楽しめるよう、土・日曜日の企画も計画していきます。ぜひご参加ください。



**中期計画でセリオホールをさらに増やすとの計画ですが、経営は大丈夫でしょうか。**

団塊世代が75歳以上の後期高齢者になり「安心してできる葬儀」へのニーズは非常に高まっています。組合員からも多数の要望が寄せられていますので、第11次中期計画では3ホールの開設を計画しています。

経営的には、葬祭事業は今年度も黒字となっており、新しいホールを建設しても経営的には問題はありません。ただし、最も大事なの是对応する「人づくり」ですので、人材育成を重点にすすめていきます。

**第35回いわて生協通常総代会 ご意見カード**

P1~4の議案について、ご意見・質問、今後の生協への期待などをお寄せください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

組合員活動チーム行

名前  お住まいの市町村

回答 不要・必要 ※回答が必要な場合のみ電話番号(  )

※この用紙の個人情報、ご意見・質問への回答のみに使用します。

提出方法とご意見への対応 提出期限 5月24日(金)まで

- この用紙での提出は、宅配か店舗サービスカウンターへ。
- FAX 019-687-1117またはWEBフォームでも▶
- 提出のご意見は、通常総代会の計画や事業・活動の改善に活用させていただきます。また回答「必要」と記入の方には、個別回答をお送りします。



<https://forms.gle/aUG9C3rk2kzB3UCXA>

# わいわいコープ

発行/2024年5月6日  
いわて生協 組合員活動チーム 年5回発行  
滝沢市土沢220-3 TEL019-603-8299 FAX019-687-1117  
Mail sn.isoshiki@todock.coop

vol. 132

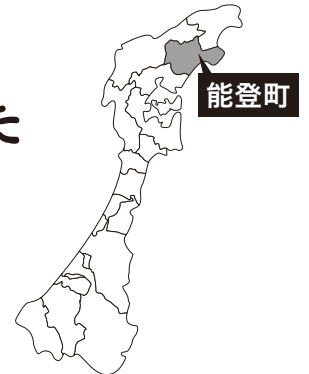
くらしの  
まなび

## 能登半島地震 被災地支援報告

### 職員が石川県能登町での支援活動に参加しました

東日本大震災の際、いわて生協は石川県や富山県の生協からもたくさんの支援をいただきました。その恩返しも含め、日本生協連からの要請に応え、復興支援活動に職員を派遣しています。(1~3月、11名。4月以降も実施)。

今回は3月25~29日に、石川県能登町に災害支援に派遣された飯塚翔さん(職員・大船渡出身)の活動報告です。



金沢市から今回特に被害の大きかった奥能登地域までの道は、片道ががけ崩れしていたり、電柱や木が倒れたままになっていたりして、片道3時間以上かかりました。車窓からは今回の被害の甚大さがうかがえました。



金沢市から能登町までの道中。がけ崩れや電柱が倒れるなどして、まだ通れない道も多い。

#### およそ8割の世帯が被害にあった能登町

私が支援に入った石川県能登町は能登半島の先端近くにある人口1万4千人の町。最大震度6強の地震に加え津波も押し寄せ、世帯のおよそ8割が被害にあった地域です。地震の影響で地中の水道管が破壊され、今なお断水が続いている地域が多くあります。私たちボランティアが宿泊した古民家も、まだ断水していました。

街中では大型トラックや重機はほとんど見られず、がれきはそのままの状態でした。住宅の片づけ作業も全く進んでおらず、地震から3ヶ月もたっているのに、発災直後ではないかと思うような状態でした。



能登町内。地盤や家の耐震性の影響か、倒壊した家と比較的被害が少なかった家が混在している。

#### 津波被害の地域で片付け支援

私は被害が大きかった地域の住宅の片付け活動に参加しました。能登町白丸という地域で片付けをしたお宅では、依頼者の方は「公費解体まで時間がなく、片付けをしなければいけないが一人ではどうにもならなかった」とか、岩手から来たことを伝えると「遠いところからわざわざ...お互い何でこんなことになったんだろうね」などお話しになりました。

被災された方にとってはまだ3か月しかたっておらず、気持ちの整理をする時間や、ほっと一息つく時間はまだないのだと思いながら、それでも少しでもお役に立てればと活動しました。



津波被害にあったお宅での活動。自宅の物以外にも津波で流れてきた漁網やゴミなどが散乱していた。

#### 輪島市の火災があった地域もそのままに

最終日には、輪島市内の朝市通り付近を通って金沢市に戻りました。

200軒以上が火災にあったこの地域では、焼け跡がそのままになっており、崩れた建物や茶色に錆びた乗用車、焼けた灰や匂いもそのままに残されていました。ここに多くの人々の生活があったことを思うと、被害の大きさに言葉がありませんでした。



大規模な火災があった輪島市中心部。

#### 組合員活動ならではの支援を

現地ではボランティアの絶対数が足りず、また支援者の宿泊施設が少ないこともあり、作業もなかなか進んでいません。

今後は仮設住宅での生活も始まりますが、食事を作って食べる気力がなくなったり、新しいコミュニティに慣れなかったりと、東日本大震災と同様のことが起こると考えられます。

みんなで調理し食事をする支援や、ホッと一息つけるサロンのような居場所づくりの支援など、生協の、組合員活動ならではの応援や支援ができれば、と思いました。



いわて生協職員も参加した輪島市でのお弁当の炊き出し支援の様子。全国の生協から集まった職員のボランティアで、被災住宅の片付け活動の他に炊き出し支援も行っています。

#### 能登半島地震支援募金のご報告

##### いわて生協

3,091万3,085円(3月20日時点)

ご協力ありがとうございました

宅配・店舗・ポイント募金に取り組み、組合員のみさんから寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

一次送金分として2,900万円を日本生協連に送金しました(下記をご覧ください)。

今後も、残金を取りまとめて日本生協連に送金し、被害が大きかった自治体への義援金や被災地への支援活動を行う団体に支援金として贈ります。

##### 日本生協連

7億8,632万1,845円(3月15日一次締切分)

126生協が取り組み、全国の生協組合員から寄せられた募金は7億8千632万1千845円になりました。

※募金金額から、現地で支援活動を行う団体への支援金を除いた金額を、消防庁発表の被害数値に基づき、災害救助法適用の4県のうち、被害が大きい3県(石川県・富山県・新潟県)に義援金として送ります。

一次締切分について、消防庁発表の被害状況に応じて配分し、4月22日に義援金として2県(新潟県・富山県)に送金しました。石川県へは募金最終締め後に送金する予定です。

# 「助産師が伝える 乳幼児を持つ家族向けの防災講座」を開催しました。

いわて生協では東日本大震災以降、毎年3月11日を「震災を忘れない日」として、店舗での黙祷や、防災・減災を考える学習会などに取り組んでいます。今年度は乳幼児のいるご家庭向けの防災講座を3月18日に北上市で開催し、13組の親子が参加しました。

講師は、花巻市の「まんまるママいわて」代表の佐藤美代子さん。「まんまるママいわて」は東日本大震災を機に、妊婦さんや乳幼児を子育て中のお母さんたちを支えるために、助産師たちが中心となって立ち上げた会です。お母さんたちをつなげるサロンなどの活動を、花巻・北上・釜石・大槌で行っています。佐藤さんご自身も東日本大震災の時、停電の中5か月と3歳の子どもたちと花巻市の自宅で過ごした経験から、災害への備えについてお話しされました。講演の内容をご紹介します。

## 難しく考えず、普段できることから

ふだん子どもを連れて出かけるときに持ち歩く「マザーズバック」には何が入っていますか？子どもに必要なものが揃っていると思いますが、さらに、おむつや子どもが食べるお菓子などをもうひとつ余計に入れておくだけでも、災害の備えになります。また、小さい子どもと避難するときは両手を空

けておけるよう、抱っこ紐などを使っておんぶや抱っこをしましょう。抱っこ紐やベビーキャリアを持ち出せなかった場合でも、さらしやマフラーなど、身近な布を使って抱っこやおんぶをすることができます。

## 「人とのつながり」がいちばんの防災

ご近所や、自治会・町内会とのつながりを大事にしてほしいです。例えば、町内会の行事や清掃活動に子どもを連れて参加すると「小さいお子さんがいるんだね」と知ってもらうことができ、災害時にも気にかけてもらったり、助けを求めることができます。また、お隣に一人暮らしのご高齢の方がいたらふだんから気にかけて、災害時にも「逃げられそうですか？」と声をかけてから避難するなど、そうしたつながりが大切です。

まずは自分で備えることから。そして自分の力でもうならないこともあるので、隣近所やつながって助け合いましょう。人と人とのつながりが、いちばんの防災術になります。

お話に加え、避難所で役立つ防災グッズや生活用品の紹介、授乳服や抱っこ紐の使い方の実演もありました。また、家にあるもので作れる防災食の

試食もしました。

参加者からは「子どもは今と半年後、1年後では準備するものが変わるので、成長に合わせた防災が大事だと思った」などの感想が寄せられました。



佐藤さんおすすめ、手軽に作れる防災食

## ツナコーンワカメ

材料(2~4人分) ・コーンホール缶 ..... 1缶  
 ・ツナ缶 ..... 1缶  
 ・乾燥カットワカメ ..... 5g

作り方 ・コーン缶の水をざっと切り、全てポリ袋に入れ、もむ。

「かんたんおいしい防災レシピ びちくでごはん」  
 岡本正子 監修(子どもの未来社)より

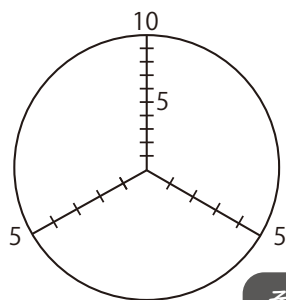
## まずは気軽に 健康チェック

生活習慣病を予防するためには、健康に関する知識を持つだけでなく、毎日の生活の中でどう実践していくかが鍵となります。忙しい毎日の中で、何を、どう変えればいいのでしょうか。

そこで、今年度の「わいわいコープ」では、毎日の生活習慣の中から、「食生活」「運動」「睡眠」「口と歯の健康」のテーマについて、現状のチェックと実践方法の紹介をしていきます。

今回はまず、あなたの生活習慣を全体的にチェックしてみましょう。「食生活」「運動習慣/活動量」「その他」の各項目でチェックした数を円グラフに記入してみてください。

### 食生活



### 運動習慣 活動量

### その他 生活習慣

★三角形が大きくなるほど、バランスもよく、健康的な生活です。  
 ★チェックが入らなかった項目や、三角形が凹んでいる部分を、行動の目標にしてみましょう。

## 生活習慣病を予防しましょう



### 生活習慣をチェック!

#### 食生活

- 主食(ごはん、パン等)、主菜(メインのおかず)、副菜(サラダ、小鉢等)を基本に、食事のバランスに気をつけている
- 野菜、果実、牛乳、乳製品、豆腐、魚などを組み合わせて食べている
- レトルト食品やインスタント食品はあまり食べないようにしている
- 揚げ物は控えめにするように心がけている
- 脂肪の質にも気をつけている
- 食塩は控えめに、味付けも濃くならないように心がけている
- 清涼飲料水やコーヒー、紅茶の糖分に気をつけて飲むようにしている
- 間食やおやつは食べ過ぎないようにしている
- 飲酒は、通量(ビール大瓶1本、日本酒1合程度)を意識して飲むようにしている
- 食事の時間を楽しんでいる

チェックの合計



個

#### 運動習慣/活動量

- 体を動かすことが好き
- 毎日よく歩く(1日8,000歩以上)ようにしている
- エレベーターやエスカレーターがあっても、階段を利用することが多い
- 週に何回かスポーツ(部活なども含む)をしている
- 休日は出かけたり、体を動かしていることが多い



チェックの合計



個

#### その他/生活習慣

- たばこは吸わない、もしくは、やめてから5年以上たっている
- 口腔ケアには自信がある
- 睡眠時間は1日6時間以上、ぐっすり眠れている
- 休日は趣味やリラックスする時間を取るよう心がけている
- 自分や家族の健康のための情報には敏感で、体にいい生活習慣を心がけている



チェックの合計



個

※この記事は、弘前大学COIが実施し日本生協連・青森県生協連が協力した大規模合同健康調査をもとに監修された「健康の教科書」から作成しました。

こ〜ぶ委員会  
おすすめ  
はなまる  
レシピ

## カステラフレンチトースト

(coop カステラ使用)

花巻コープ SUKUSUKUこ〜ぶ委員会

材料 / 1人分

- coop アイコープカステラ ..... 50g
- 牛乳 ..... 25ml
- バター ..... 5g

産直さくらたまご使用。  
ふわふわの食感が  
好評です。



作り方

- 1 カステラは好きな大きさに切る
- 2 1を牛乳に両面ひたす
- 3 フライパンを中火であたため、バターを入れて溶かしてなじませる。カステラを両面こんがり焼いて(焼き色はお好みで)完成!

こ〜ぶ委員会  
おすすめ  
はなまる  
レシピ

## ヨーグルトを使った無水カレー

(coop 毎日たべたいヨーグルト使用)

久慈コープ さく咲なのだこ〜ぶ委員会

材料 / 2人分

- coop 毎日たべたいヨーグルト ..... 1/2カップ
- カレールウ ..... 30g
- 鶏むね肉 ..... 約200g
- 玉ねぎ ..... 1/2個(横5mm幅に切る)
- トマト ..... 1個
- 塩、サラダ油、砂糖

★お好みで、ナス、ピーマンなど季節の野菜を加えても◎ カボチャや芋を加えるときは電子レンジにかけてから。

岩手県産の生乳を100%  
使用。生きて帰まで届く  
ビフィス菌BB-12を  
使用しています。



作り方

- 1 トマトは小さめの一口大に切る。玉ねぎは横5mm幅に切る。とり肉は皮を除いて7mm幅のそぎ切りにし、塩小さじ1/4をまぶす。
- 2 フライパンに油小さじ1を強めの中火で熱し、玉ねぎを入れて、砂糖小さじ2をふって約3分炒める。
- 3 しんなりして焼き色がついたら、鶏肉を加えてさっと炒める(お好みで野菜も加える)
- 4 鶏肉の色が変わったら、トマト、ヨーグルトを加える。蓋をして中火で約5分煮たらカレールウを加えて混ぜ、ルウが溶けてとろみがつくまで煮る。

## 前号に寄せられた 声から

### 「ハピファミコープ」楽しみです。

昨年12月に出産し、今年1月に組合員になりました。赤ちゃんのお世話で思うように家事が進まなかったり外出ができなかったりしますが、ハピファミコープに参加してみたいと思っています。パパとママと一緒に参加できるイベントや教室が増えて安心して子育てができる環境を整えてほしいです。(二戸市・30代)

### 真崎わかめ大好きです。

真崎わかめは何と言っても肉厚でおいしいですよ。岩手の商品にこんな良いものがあるなんて!生産者さんの努力があってなんです。ありがたいものです。(北上市・60代)

### 釜石艦砲射撃の体験を読んで…。

藤原さんの戦争体験は読んでよかったです。徴兵された人の話は聞いたことがありましたが、空襲から逃げる話は聞いたことがありませんでした。防空壕に入れてもらえなかったことや、終戦後もすぐに家族で暮らすことができなかったことなど、初めて知ることばかりでした。貴重なお話を掲載くださってありがとうございます。(滝沢市・30代)

「岩手の戦争体験を聞く」が興味深かったです。大変な状況のなか必死に生きてきた様子が伝わり、後世に伝えていくべきことだなと感じました。「飯を食べられなくても、子どもは親と一緒にいたいんだ」との言葉も響きました。広島や長崎等の戦争体験の話はよく耳にしますが、岩手の戦争体験についてはあまり知らなかったです。(北上市・40代)

初めて聞くことばかりでとても驚きました。当時のことをとても鮮明に覚えていらして、こんなお話が聞けてありがたい事だと思いました。(大船渡市・50代)

## SDGs

コープのプラスチック削減の取り組みを紹介

ボトルを捨てずに中身を詰め替えることで、年間1454トンのプラスチックを削減できます。

## つめかえでリユース!



軽くて丈夫で、コストが安く加工しやすい特徴を持つプラスチックは、自動車から医療機器、食品包装まであらゆるものに使われており、私たちの生活にかかせないものです。

しかしプラスチックは、生分解性が低いという特徴があり、ゴミとして自然環境内に出てしまった場合ずっと残り続けること、燃やせば温室効果ガスである二酸化炭素を発生させることなど、問題点もあります。

そこで生協では、プラスチックの使用量をできるだけ減らそうと、洗剤などの詰め替え用の商品を積極的に開発・販売しています。また詰め替え用商品の容器も、20年以上前から紙パックを採用し、使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいます。

本体容器を繰り返し使用する「リユース」で、SDGsにつながる暮らしを始めましょう。

商品の一例



coopセフター  
ENERGY(エナジー)  
抗菌・防臭詰替用

### 軽い運動を続けることが大事ですね。

健康ワンポイントに興味を持ちました。私自身、社会人になってから運動することが少なくなり、今は休日に子どもと散歩をすることが楽しみです。外に出ることで気分転換になるので、続けていきたいです。(宮古市・30代)

### 生協牛乳の紙パックの開け方を試してみました。

牛乳パックの開封のしにくさを感じていました。要望を出したことで解決することができました。ありがとうございました。(盛岡市・80代)



「開け口」を手前にし、左右に十分広げます。屋根につくまで、押し付けます。そのまま徐々に手前に引いてください。

# 組合員活動のようすをご紹介します

## ベルフ向中野講座

### 親子でピザ作り体験会

ベルフ向中野(盛岡市)のベーカリーコーナーで人気のピザを、親子で作る企画を開催しました。春休み中の3月19日・25日に計3回実施し、親子16組が参加しました。

持ち上げるだけで伸びるほど柔らかい生地を丸い焼型に伸ばしたら、ソースを塗り、トマトやチーズをトッピング。店内の専用窯で高温で焼き上げるところを見学し、焼き立てをいただきました。

参加者からは「本当にモチモチでおいしかった」「作るのも楽しいし食べたらいちいちよかった」などの感想が寄せられました。

(3月19日・25日)



## 作って食べる会



高齢者がいつも一人で食事をしていると、栄養不足やコミュニケーション不足が起こりがちです。そこで、栄養や調理法を学びながら一緒に食べる活動として「作って食べる会」をスタートしました。

初回はベルフまつぞの(盛岡市)で開催し、6人が参加しました。始めに紙芝居「1日350g以上の野菜を食べよう」で栄養について学習。調理では「一手順ごとにみんなで作る」ことを大切にしており、すべての工程に参加することで、自宅でも調理ができるようになります。できあがった料理は、みんなでにぎやかにいただきました。参加者からは「薄味だけど、これでも十分美味しいね」「家にある材料でできそうなので今晚作ってみるわ」との感想をいただきました。

(4月6日)

## ハピファミコープ

### こどものお口のケア講座

子どもと親の楽しいイベント「ハピファミコープ」の4月の北上の企画は「おやつ後は歯磨きチャレンジ♪こどものお口のケア講座」と題して、歯科衛生士の藤原風さんを講師に開催。親子3組が参加しました。

体を動かしたり絵本の読み聞かせをしたり「りんごとキャンディー、むしばきが好きなおやつはどっち?」とクイズをしたりと、親子で楽しみながら学ぶことができました。噛むことの大切さや、食べるときの姿勢なども教えていただき、最後には仕上げ磨きを実際にやってみながら、歯磨きに楽しく取り組めるコツをアドバイスいただきました。

(4月19日)



## Information

### 「私が原発をとめた理由～日本の原発に共通する危険性～」学習講演をYouTubeで公開中

3月17日(日)に行われた「さようなら原発岩手県集会2024」の学習講演をYouTubeで公開しています。

2014年に関西電力大飯原発の運転差し止めの判決を下した元福井地裁裁判長、樋口英明さんの講演。冒頭には「能登半島地震の震源地・珠洲市には原発建設計画があった。もし原発が建っていたら、今回の地震で日本壊滅、北半球壊滅だったかもしれない。反対運動で原発建設を止めた珠洲の人たちは、知られざる世界のヒーロー」とのお話がありました。「原発は人が管理し続けると暴走する。暴走し事故になったときの被害はあまりにも甚大。そのため高度の安全性が必要となる。しかし、日本は地震大国なのに、日本の原発は耐震性が低い。だから原発を動かしてはならないと

判断した。原発と聞くと難しい話だとみんなが思い込んでいるが、単純な話。」など、原発問題の本質を明確にお話になりました。また「他国やテロリストが原発を攻撃すれば日本は壊滅的な被害になる。原発は自国に向けた核兵器のようなものだが、日本はそれを全国の海沿いに並べている。安全保障と言うなら原発こそやめるべきだ」とのお話もありました。ぜひ講演をYouTubeでご覧ください。

<https://youtu.be/vBXoccXqXOU>

URLQRコードかYouTubeで「岩手県生協連」と検索

岩手県生協連 検索



キトリ



わいわいコープ No.132

組合員活動チーム行

## クイズ&アンケート 5月24日(金)締切

### ■クイズの答え

コープ

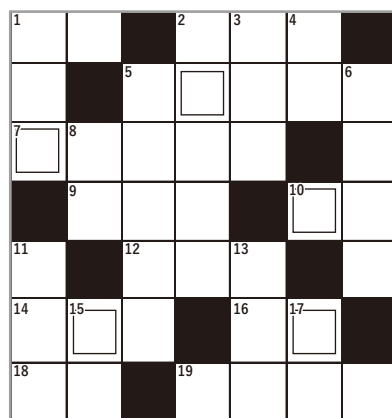
### ■アンケート

今回の記事で興味・関心を持ったこと、感想など。

お名前		年代		代
組合員番号 または電話番号		市町村		市・町・村

※この個人情報はポイント付与や当選のお知らせ、申込み・意見・質問への回答、関連した情報のお届けに使用します。アンケートの内容は生協の発行物に掲載する場合があります。

## クロスワードクイズ



正解者から抽選で30名に  
コープポイント500ポイントを  
プレゼント!

・左の用紙を切り取り、宅配担当者または店舗サービスカウンターへ。  
・郵送・FAX、ウェブフォームからどうぞ。

<https://forms.gle/L19h6FmMqmGg6Phm7>

FAX 019-687-1117  
〒020-0690  
滝沢市土沢220-3



クイズ 二重枠の文字を並べ変えると?  
\*ヒントは紙面をご覧ください。

- 三ノカギ
1. …は熱いうちに打て
  2. 大砲の弾などが爆発せずに残っている状態のもの。…弾。
  3. 英語で決勝戦
  4. 自然豊かな場所に出かけ持ち寄りの食事をしたり遊んだりすること。
  5. 物事を忘れずに覚えていること。
  6. 傘の代わりになりそうな山菜
  7. 血のつながり
  8. 「…日和」は春ではない
  9. 紫外線などによる肌トラブルの一つ
  10. 沖縄の県庁所在地
  11. 密閉、密集、密接

- タテのカギ
1. 魚介類などを直接日光に当てて干すこと…干し
  2. 文字や図形、写真などの静止画像を、電気信号に変換して送受信する通信方式
  3. 五・七・五といえ
  4. マグロやカツオなどの油漬け缶詰、…缶
  5. 納得する、合点がいくという意味の慣用句
  6. 野球などの新人選手
  7. 花と根を結ぶ
  8. 相撲における力士の名前
  9. …、雷、火事、親父
  10. 5月の第2日曜日は…の日
  11. 壁に…あり、障子に目あり

◎前回No.131の答えは「マサキワカメ(真崎わかめ)」でした。  
応募総数は574通でした。  
当選者は、6月中旬頃ハガキにて通知させていただきます。



\* 2 4 0 5 0 4 3 3 8 \*